

おおがわら

議会だより



第170号

令和6年2月1日

QRコードから議会の情報を
ご覧ください

大河原町議会



天まで上げれ

令和6年1月7日

(駅前商店会たこあげ大会)

小学生の議会傍聴	②③
議会報告会	④⑤
町政への提言	⑥
議案審議(12月会議)	⑱⑲⑳
全員協議会	㉑
委員会活動	㉒
町民の声	㉔

小学6年生 初めての議会傍聴



大河原小学校

- 町議会を見学して、新しく建てたいものや、設備のメンテナンスをすることにたくさんのお金が必要、という事がとても大変なことなんだなと思いました。たとえば、トイレに不満のある町の人がいっても、トイレ1つに1000万円かかるという事を聞いて、おどろきました。施設の問題と一緒にお金のこと考えないといけないことが大変だと思いました。



大河原小学校

- 今日の町議会を見学して思ったことは、また家族と傍聴したいなと思いました。なぜなら、あまり今までは町について考えたりして生活してこなかったからです。また、おじいちゃんが何回か傍聴したことがあると言っていたので、おじいちゃんとも、もう一度傍聴したいです。これを機に町についてもっと深く考えて生活していきたいです。



12月7日、8日の2日間、授業の一環として町内の小学6年生全員が、議場内で一般質問を傍聴しました。町長や各課長と議員の議論に緊張した表情で聞き入り、真剣な様子でメモを取っていました。
議会を傍聴した感想と疑問点を寄せていただきましたので、一部を紹介します。

金ケ瀬小学校

- 初めて議員さんが質問しているところを見たけど、大河原町の為に一生懸命していることが、改めて分かった。
- 実際に議会をしているのを見るのは初めてだったけど、とても勉強になりました。

大河原南小学校

- 議会の流れについて、よく分かりました。
- 一つの課題について、たくさんの意見を出していてすごいと思いました。
- 私達の町は、このような話し合いによって、支えられているんだなと良くわかりました。

A 質問する回数が多いからです。

Q 議長や町長、発言者しか水とコップが無いのはなぜですか。

A 議長や町長、発言者しか水とコップが無いのはなぜですか。

Q 議員さんが発言しているときにタイマーのようなものを使っているのは、なぜ使っているのか気になりました。

A 一般質問の発言時間が一人30分と決められています。

Q 桜はなぜソメイヨシノが多いのですか。

A 植樹当時、ソメイヨシノの苗木の生産が盛んで、多く植えられていたからです。

Q 議員さんに対して行くもので、他の議員の発言は許されていないからです。

A 議員さんが発言しているときにタイマーのようなものを使っているのは、なぜ使っているのか気になりました。

Q 質問しているときにほかの議員さんが話してなかったのが気になりました。

A 一般質問とは一人の議員が町に対して行うもので、他の議員の発言は許されていないからです。

みんなの
疑問
Q&A



金ケ瀬小学校

- 初めに全部質問している。
- 自分の意見が言える時間が限られていることが分かった。
- 議会では町民のことをしっかり考えている。

大河原南小学校

- どんな問題があるのかや、その問題を解決するためにどうすれば良いかを詳しく話していた。
- 話している内容が自分には難しかったけれど、これからの大切なことにしっかりと話していることが分かった。

各会場多くのご要望、ご意見、質問をお寄せいただきました。

昨年11月11日(土曜日)午後6時から町内の3会場で「議会報告会」を開催しました。
3会場合わせて38名の方々が参加してくださり、議会や役場に対する意見、要望がたくさん寄せられました。
各会場で出された多くの意見、要望の中から一部紹介します。

会場	会場名	参加者
A会場	中央公民館	14名
B会場	西桜集会所	10名
C会場	金ヶ瀬公民館	14名

中央公民館

意見

◆空き家問題について

- 隣接する空き家からの雑草や樹木などがはみ出し、迷惑になる場合の対処について町の方から知らせてもらえるとありがたい。

◆不登校対策について

- 学校の方で、小学校の段階でそういった不登校になりそうな子どもを早期発見して対策をとることはできないものなのだろうか。

要望

◆雨量とハザードマップについて

- ハザードマップからみて、白石川はどのくらいの雨量で氾濫するのか。白石川の河川敷をかさ上げして造成したことで、より氾濫の危険が増すのではないのか。あのハザードマップは誰が決めたのか。

◆賑わい交流拠点施設について

- 町長は白石川右岸整備事業については、これまで何度も様々な場面、広報物によって町民に知らせてきたと言っているが、まだまだ多くの町民がこの問題を知らない人が多い。収支計画も含めた広報物をもう一度配布する必要があるのでは。



活発な意見交換が行われた

西桜集会所

意見

◆区の役員のなり手不足について

- 区の役員のなり手がいない。仕事をしながらだと、役員との両立が難しい。

◆民生委員のなり手不足について

- 民生委員がいない行政区もあり、福祉委員を兼任している人も多い。なり手不足が大変難しい問題である。

要望

◆生活圏に係る広域的連携の検討について

- 災害等では隣接町など広域連携で情報を共有するべきではないか。また、生活圏を広域で考えていかないと今後は難しいのではないか。

◆荒川の浚渫^{しんせつ}及び雨水対策について

- 荒川の工事を県で行っている。町はどのように把握しているか。また、荒川の堤防が崩れている。のり面部分のかさ上げなどしないのか。確認してほしい。



金ヶ瀬公民館

意見

◆観光PRについて

- 大高山神社には国宝の鰐口がある。馬取山には古戦場跡、大高山神社裏の遊歩道から手倉森にかけての景観は蔵王百景にもなっている。整備をして観光PRをしてはどうか。

要望

◆投票率の向上について

- 次回の町議選に向けて、議会主導で町当局と一緒に投票率向上の議論する場を提起してはどうか。

◆雑木の伐採許可について

- 薪ストーブを採用している家庭が見受けられるが、雑木の伐採を許可して燃料として使ってもらおうと、お金をかけて整備するより良いかと思うが、どうか。

※要望に対する回答は、後日町のホームページに掲載します。

町政への提言 Q & A

一般質問とは、町長や教育長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどを問い質すものです。今回は11人の議員が行いました。

- 高橋 芳男 P ⑦
 - 移動式オンライン訪問診療所の普及促進について
 - COCOCOプランを受けての不登校支援の推進について
 - グリーンライフ・ポイント制度の導入について
- 万波 孝子 P ⑧
 - 学校給食費の無償化の実施を
 - 賑わい交流拠点施設整備について
 - 新型コロナワクチンに関して
- 中村 淳 P ⑨
 - 大河原昆虫公園について
 - 町道の県道格上げ(付け替え)について
- 佐藤 暁史 P ⑩
 - ICT教育について
 - 観光戦略について
- 佐久間 克明 P ⑪
 - プラスチック資源ごみについて
- 丸山 勝利 P ⑫
 - 本町の河川敷整備について
- 大沼 忠弘 P ⑬
 - 施設整備について
 - 職員の勤務体制について
 - 学校での体育、スポーツ体験について
- 須藤 慎 P ⑭
 - 「千本桜を千年先へ」について
 - 子育て世帯の負担軽減策について
- 高橋 豊 P ⑮
 - 建築物等の省エネ化について
- 佐藤 巖 P ⑯
 - 「みんなの市場」設置で人の集まる地域づくりを
- 大沼 常次 P ⑰
 - 指定管理者制度における会計処理について
 - 町スポーツ施設等の指定管理者の変更に伴う協定内容の確認について

内容は、大河原町議会ホームページ内の「インターネット議会配信」で視聴できます。
(<https://ogawara-town.stream.jfit.co.jp/>)
各一般質問の録画は、QRコードからご覧いただけます。



普及促進を

訪問診療体制は整っている



移動式オンライン訪問診療所

高橋 高齢者人口は2025年には3677万人になり、2042年には3935万人に達する。高齢化と核家族化によって、

高齢者の一人暮らしや高齢者のみ世帯が増加し、中山間地域や通院困難な高齢者に出向く移動式オンライン訪問診療所が期待を集めて

いる。ベッド付の車内に血圧計や心電図モニター、車いす用の昇降機を付け、看護師とドライバーが乗り込み、自宅を訪問する移動式オンライン訪問診療所の普及促進を進めるべき。

COCOCOプランの推進

町長 本町は診療所も多く、訪問診療体制も整っていることから、移動式オンライン訪問診療所の導入は、考えていない。

高橋 文部科学省は令和5年3月31日、不登校の総合対策「COCOCOプラン」を

策定した。具体的には保護者が自由に参加できる「不登校の子ども保護者の会」や子どもが落ち着いて学習できる「スペシャルサポートルーム」等がある。これらの設置の推進を。

教育長 「不登校の子ども保護者の会」について、本町の駅前オーガに設置している「おおがわら心のケアハウス」に「ほっとタイム」という名称で不登校児童生徒のご家族同士の語り合いの場を設けている。「スペシャルサポートルーム」については大河原小・中学校に「学び支援教室」として設置している。

グリーンライフ・ポイント制度導入

高橋 環境に配慮した行動に対してポイントが付与される「グリーンライフ・ポイント制度」の導入について、環境問題に積極的に取り組んでいる企業と連携してグリーンライフ・ポイント制度の導入を推進、または検討すべきだと思いが、どうか。

町長 現在は次世代型住宅補助金により、ポイントの代わりとして補助金を交付している。さらに環境に配慮した取り組みを近い将来実践していきたいことを、周知していきたいと考える。

診療 移動訪問



高橋 芳男

一般質問

子育て支援

学校給食費は無料に

国の責任で全国一律で行うべき



万波 孝子



町民の合意形成を図る方策は。

インフルエンザワクチン接種に助成を

町長 様々なご意見を伺っており、引き続き町民への情報発信、周知方法を工夫し意見を聞く機会を設け、丁寧に説明責任を果たすよう努める。

万波 中学3年生を対象としているインフルエンザ予防接種助成を、中3以下も対象にできないか。

町長 町民だけでは期待される事業にしていくべき。

教育 学級閉鎖も起きる。子育て世代への経済的負担軽減や疾病の発症予防の観点から、子ども（6歳まで）接種費用の一部助成を現在、検討している。

町長 町民だけでは期待される事業にしていくべき。広域連携の視点が重要。

万波 あくまで町の事業なので多くの町民に喜ばれ期待される事業にしていくべき。

無償化している宮城県内の市町村	
完全無償化（11市町村）	気仙沼市・栗原市・富谷市・角田市（令和6年4月から）・大郷町・川崎町・七ヶ宿町・大和町・丸森町・南三陸町・大衡村
一部無償化（4市町）	名取市・柴田町・利府町・山元町

町内でも無償化を求める声は大きい

学校給食費を無償化する自治体が全都道府県に広がっている。県内では、栗原市、丸森町など15市町村で、既に実施している。

一環。子どもは「国の宝」であり、社会全体で支えていくもの。子育て支援からも無償化に踏み切るべき。費用は1億1000万あれば実施可能。一般会計予算93億円のわずか1%。決断できないか。

実施している首長と同じ。国に要望している。賑わい交流拠点施設の更なる周知を

などに係る実施設計を進め、開発許可申請に向け関係機関との協議を重ねている。用地取得については、所有権移転登記の準備を進めている。

万波 年間給食費は一人あたり小学生は約5万円、中学生は約5万6000円かかる。加えて教材や修学旅行、制服など親の教育費の負担が重くなっている。憲法26条では義務教育は無償と定められている。給食は教育の

町長 町内でも無償化への要望が高まっていることは理解している。国の責任において全国一律で行うべき。町民の声を現実のものとしたい思いは、

町長 盛土造成及び水道路並びに上水道

町長 設置目的のとり動植物が息可能な環境を保全し、自然観察を楽しみ憩える場所でありたい。しかし、現状は地形変化やイノシシ被害の影響で、訪問者が減っている。公園サポーターの支援をしながら、維持管理を行っていく。

町長 町内でも無償化への要望が高まっていることは理解している。国の責任において全国一律で行うべき。町民の声を現実のものとしたい思いは、

町長 町内でも無償化への要望が高まっていることは理解している。国の責任において全国一律で行うべき。町民の声を現実のものとしたい思いは、

町長 盛土造成及び水道路並びに上水道

町長 設置目的のとり動植物が息可能な環境を保全し、自然観察を楽しみ憩える場所でありたい。しかし、現状は地形変化やイノシシ被害の影響で、訪問者が減っている。公園サポーターの支援をしながら、維持管理を行っていく。

町長 町内でも無償化への要望が高まっていることは理解している。国の責任において全国一律で行うべき。町民の声を現実のものとしたい思いは、

町長 町内でも無償化への要望が高まっていることは理解している。国の責任において全国一律で行うべき。町民の声を現実のものとしたい思いは、

町長 盛土造成及び水道路並びに上水道

町長 設置目的のとり動植物が息可能な環境を保全し、自然観察を楽しみ憩える場所でありたい。しかし、現状は地形変化やイノシシ被害の影響で、訪問者が減っている。公園サポーターの支援をしながら、維持管理を行っていく。

提案する考えは無い

官学連携での管理は

昆虫公園



だいぶ傷んできています

昆虫公園を訪問した際に、休日中でも子供の姿が無かったこともあり、今後の管理を含めた公園のありかたについて質問する。

中村 今後の昆虫公園のあるべき姿、子ども達の姿が見られない原因をどのように捉えているか伺う。

町長 昆虫や植物など生命を大切にす

町長 設置目的のとり動植物が息可能な環境を保全し、自然観察を楽しみ憩える場所でありたい。しかし、現状は地形変化やイノシシ被害の影響で、訪問者が減っている。公園サポーターの支援をしながら、維持管理を行っていく。

町長 周辺山林は私有地であり町から提案する考えは無い。

町長 周辺山林は私有地であり町から提案する考えは無い。

町長 賑わい交流拠点施設については、アクセス道路についても管理してもらえる様に考える。地域住民の声を聴きながら進める。

町長 昆虫や植物など生命を大切にす

町長 設置目的のとり動植物が息可能な環境を保全し、自然観察を楽しみ憩える場所でありたい。しかし、現状は地形変化やイノシシ被害の影響で、訪問者が減っている。公園サポーターの支援をしながら、維持管理を行っていく。

町長 周辺山林は私有地であり町から提案する考えは無い。

町長 周辺山林は私有地であり町から提案する考えは無い。

町長 賑わい交流拠点施設については、アクセス道路についても管理してもらえる様に考える。地域住民の声を聴きながら進める。



中村 淳



町長 本路線を県で維持管理して頂く

町長 賑わい交流拠点施設については、アクセス道路についても管理してもらえる様に考える。地域住民の声を聴きながら進める。

一般質問

ICT教育

※ 桃鉄の学習アプリ活用を

活用して差し支えない



佐藤 暁史

観光戦略
一目千本桜は植樹100周年を迎えた。来年は101年目の新時代が幕を開ける。

佐藤 ブルーインパルスを招聘して新時代の幕開けを告げてはどうか。

町長 ブルーインパルスの華麗な飛行は見るものに大きな感動を与える。今後の観光振興の意見として賜る。

佐藤 ブルーインパルスがこの辺の空を飛ぶという事は3町の空を飛ぶ。3町の町民を笑顔にし、全国の観光客を喜ばせるのも本町の役割ではないか。

町長 祭りやイベントは人々、地域と地域が繋がるうえで非常に大事なツール。3町の空を飛ぶブルーインパルスは検討に値する。

※桃鉄とは
桃太郎電鉄シリーズのことで、子ども達に人気のゲーム。



千本桜の新世纪にブルーインパルスを呼ぼう

GIGAスクール構想は子ども達一人一人の個性に合わせた教育の実現、教員の働き方改革に繋げる狙いもある。

佐藤 本町の小中学校ではゲーム性のある学習アプリを取り入れているか。

教育長 ゲーム性のある学習アプリは子どもの興味・関心を引き学習効果があると認識しているが、活用している学校はない。

佐藤 教育委員会は桃鉄を活用できる環境整備をしていくか。

教育長 環境は整備されているため、先生方や児童生徒から使いたいと声が上がれば、活用して差し支えない。

佐藤 大中では30日以上学校にきていない生徒が57名。担任の先生も尽力している。桃鉄を使えば会話が生まれ打ち解けるきっかけになり、学校に来や

教育長 今の学校に馴染めない子どもがいる。学習機会を保障するのは非常に重要。岩沼市でも導入が減ったという話を聞く。支援教室で「地元東北を知ろう」という授業をしたとき、生徒が興味を示した。桃鉄は学習の入口にも使え

すくなるのではないか。会話や対話は本町の教育にマッチしているのではないか。

教育長 今の学校に馴染めない子どもがいる。学習機会を保障するのは非常に重要。

佐藤 岩沼市でも導入が減ったという話を聞く。支援教室で「地元東北を知ろう」という授業をしたとき、生徒が興味を示した。桃鉄は学習の入口にも使え

るのではないか。特別支援学級や、障がいを抱えているお子さんにはどんな使わせて良い。

佐藤 ゲームを利用した勉強「ゲームリファイケーション」に着眼し、勉強の環境を整えるのも大事ではないか。

教育長 多様な学びの中の一つの手法と考えている。

行政 行政区長より「プラスチックごみの分別」に関する依頼があった。仙南地域広域行政事務組合業務課に問合せ、説明を受け、上の表に記載した回答をもらった。

佐久間 仙南広域担当課では、依頼があれば正しい分別のために出前講座など職員派遣をおこなうので、町や行政区に周知することとお願したいとのことだ。本町において講座開催はあるか。

町長 令和4年度に大河原南小の「放課後子供教室」において「ごみの分け方と出し方」について講座を開催した。

佐久間 住宅着工件数が増えている本町は、集積所が増加することも考慮し、区長会等で周知し講座を開催する必要がある。

町長 事務局をしている行政区長などで構成する大河原町環境衛生組合で研修会を行いたい。

佐久間 収集業者にも問い合わせ、各集積所に出される混合ごみ、医療ごみ、不当ごみについて月1回写真付きの報告書を出しているのと聞いた。どのようなごみが集積所に出されているか。また町として分別周知と注意喚起を行っているのか。

町長 「収集できません」のシールを回収業者が袋に貼りつけ、収集できない理由を書き込んでいます。集積所に出される事業ごみは、医療ごみ、事業用の大きなダンボール等がある。ごみ収集カレンダー、ホームページやおしらせばん、ごみ分別アプリで、ごみの正しい分け方や出し方と、家庭から出るごみ以外には出せないことも同様に周知している。

佐久間 現在、ペットボトルは仙南広域が協会を通しリサイクル専門業者で回収し、パックや衣料品に再生。同様に容器包装プラスチックは、燃料等加工でプラスチック製品に再生。その他のプラスチックは、仙南クリーンセンターにて焼却の助燃材として使用される。ペットボトルは「有価商品」と考える。本

町は1回あたり約2トン集積している。燃やせないゴミの日に作業に渋滞が発生していることも考えれば、本町から直接リサイクル業者に持ち込むことはできないか。

町長 集積所やリサイクルセンターが仙南クリーンセンターへ持ち込み、仙南広域がまとめて売り払った収入を各市町へ還元している。また、仙南広域ではペットボトルの「水平リサイクル」として「ボトルtoボトル」の取組みをスタートする予定。本町も取り組みを推進したいので直接リサイクル業者への持ち込みは考えていない。

※ボトルtoボトル
元の製品に還元させること。使用済みペットボトルを原料に新しいペットボトルにリサイクルすること。

正しい分別講座開催を

研修会を行いたい

行政区長からの依頼内容	仙南地域広域行政事務組合からの回答
① プラスチックごみの分別を3分別から1分別にできないか 本町は資源ごみで「ペットボトル」「容器包装プラスチック」以外のプラスチックの3分別としているが、仙台市では令和5年4月より1分別となった。本町も仙南2市7町と協議して改善できないか。	● 構成市町負担金の増加に直結する。 分別するラインの延長確保が困難。仙南クリーンセンターが老朽化し更新時期になれば、AI技術で判別するラインの導入が可能と考える。本町単独で1分別にするとすれば、分別作業に手間がかかること、また時代に逆行することから負担金の増に直結する。 ● 迷ったら「燃やせるごみ」に入れてもらうのが最善。 全国的に5から7分別している所もある。現在の施設では3分別まで絞るのが限界。近年では、リチウムイオン電池が混入して数件のボヤが発生していることから、人による目視分別をおこなってから投入している。燃やせないゴミの日には資源も発生す
② 回収不可能で集積所に置き去りになる袋が多い プラ表記に弱い世代において分別に迷うことが多いと聞く。混入してしまい回収不可能となり、集積所にシールを貼られ置き去りになる袋も多く見受けられる。	

プラスチック資源ごみ



佐久間 克明

一般質問

河川敷

整備と同時に川底の浚渫も

「県も前向きに検討する」と



丸山 勝利



丸山 現状でも背後に蔵王連峰を望む眺望は素晴らしいものがあるが、雑木などを撤去することにより更なる美しい眺めが望める。

アニメやコスプレなどに使ってもらえるような整備をして聖地などになれば、更なる来町者を望めるのではないかと。

町長 蔵王や白石川、一目千本桜が形成する自然景観は、町のシンボルであり町民の誇りである。景観を保全しながら、更に魅力的な空間づくりを目指す。その結果として、アニメなどへの使用や聖地などに選ばれることに繋がると捉えている。

本町の河川敷整備はMTBパークが令和4年4月に使用が出来るようになり、ドックランの整備、そしてパークゴルフ場が整備され、今年度中にオープンが出来なかったが10月10日プレオープンが何とか出来た。河川敷整備も何とか形になり、今後は河川敷に隣接する賑わい交流拠点施設の整備に移ると思われるが、町民や近隣利用者が

丸山 現在MTBパーク、パークゴルフ場の利用状況はどうか。

町長 MTBパークは、管理業務を委託している土日・祝日のみの集計になるが、令和5年4月1日から11月30日までの来場者数が2065名。パーク

ゴルフ場は令和5年10月10日から11月30日までの利用者数は2210名、町内が1168名、町外が1042名となっている。

丸山 河川敷を利活用しているのは町で、災害時、被害に遭うのは町民である。河川敷整備と同時に水害対策として、中州の撤去や、低水護岸整備と川底の浚渫も同時にしているかどうか。また、浚

渫した土を賑わい交流拠点施設の埋め立てに利用してはどうか。

町長 低水護岸整備や川底の浚渫は、水害対策や防災の強化において重要な視点と認識している。盛土造成工事及び白石川におけるリバースポーツの活用等を想定して、中州の撤去について県に要望していく。浚渫については県も前向きに検討すると話を伺って



景観を損ねる雑木

財政的負担が大きい

古いトイレの更新は

施設整備



きれいで使いやすいトイレに更新を

大沼 公園の古い造りのトイレを更新する計画、予定は。

町長 新設や更新などの要望があるが一施設にかかる金額が高く、財政的な負担が

大きいことなどから具体的な計画は立てられていない。遊具、フェンスやベンチなどの施設改修を優先的に行っている。



大沼 忠弘



町長 屋根や外壁などメンテナンスについては計画的に対応。

大沼 庁舎大会議室や公民館の大ホール等、町民憲章を唱和

町長 本年の人事院勧告においても多様なワークスタイル、ライフスタイルの実現に向けて、フレックスタイム制の見直し等が行われており、これらの制度は職員の働き方改革において有効な手段と考えている。

大沼 役場が率先して子育てしやすい勤務体系を確立すべきでは。

町長 町民が活用しやすいか。

大沼 大谷選手から寄贈されるグローブはどのような活用を考えているか。

教育長 児童が活用し間を作り、児童の考えを基にして積極的な活用を促していきたい。

大沼 学校の授業あるいは行事としてパークゴルフを体験することはあるのか。

教育長 児童生徒の意向や学校の行事等との兼ね合いを考えながら、前向きに体験について検討したい。

大沼 公園に東屋や藤棚のような日陰を新設してみようか。

町長 新設の計画はないが、スポーツを活用したWell-being(ウェルビーイング)なまちづくりを推進するための環境づくりとして必要があれば個別に対応を検討。

大沼 消防ポンプ小屋の定期点検状況は。

することがあるような場所には常時掲示しておくべきでは。

町長 必要などころには設置していく。また掲示されていても経年の汚れや変色が見られるものは順次新しいものに取替えていく。

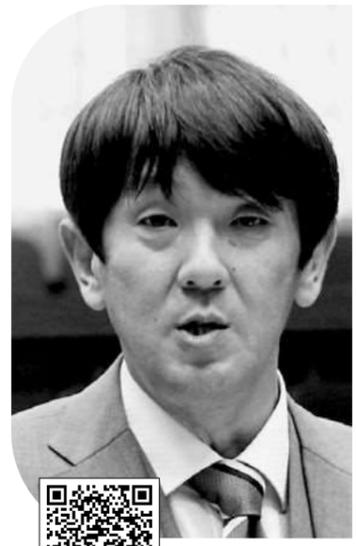
町長 本町においてベビーファースト宣言」を行い、官民一体となって子育て世代を応援していく中で、役場が率先して子育てしやすい環境を構築すべきと考えている。

町長 本町においてベビーファースト宣言」を行い、官民一体となって子育て世代を応援していく中で、役場が率先して子育てしやすい環境を構築すべきと考えている。

一般質問

千本桜を千年先へ

基金の創設を



須藤 慎



検討していきたい

本年、桜植樹100周年を迎え、「千本桜を千年先へ」の言葉が様々な場面で使われている。

須藤 近年、関西地方を中心に「クビアカツヤカミキリ（特定外来生物）」が桜樹木等へ大きな被害をもたらしている。幸い現段階では東北地方での被害は確認されていないもの、今後いつ本町に侵入してもおかしくない状況にあること

町長 昨年度から薬剤（スミチオン）の散布を年2回行っている。

須藤 奈良県橿原市の「リバイブ」という薬品が大変効果がある。高額であるが今後、「リバイブ」の使用も検討してはどうか。

町長 樹木医には、本町の桜を守るために、大変ご尽力いただいている。樹木医の助手を採用してはどうか。

町長 今後、計画を立てるなかで検討していきたい。

町長 継続した財政措置を念頭に置き、適切な事業設計実施に努め、各種補助金等の財源確保調査を行うとともに、桜に関する特定の目的のための財源措置の協議の際には、「基金の創設」も検討していきたい。

須藤 令和4年度に交付金（地方創生臨時交付金）を活用し、町内小・中学校に入学する児童生徒に一人当たり5万円の支援を行い、大変好評であった。今年度も是非継続してほしい。

町長 今後、特例的な財政措置がなされれば改めて検討していく。

須藤 令和4年度に交付金（地方創生臨時交付金）を活用し、町内小・中学校に入学する児童生徒に一人当たり5万円の支援を行い、大変好評であった。今年度も是非継続してほしい。

入学準備支援金の継続を

町長 国府与党は、一年以内の実態調査を行う。

須藤 学校給食費の無償化を

町長 国府与党は、一年以内の実態調査を行う。

須藤 学校給食費の無償化を

町長 国府与党は、一年以内の実態調査を行う。

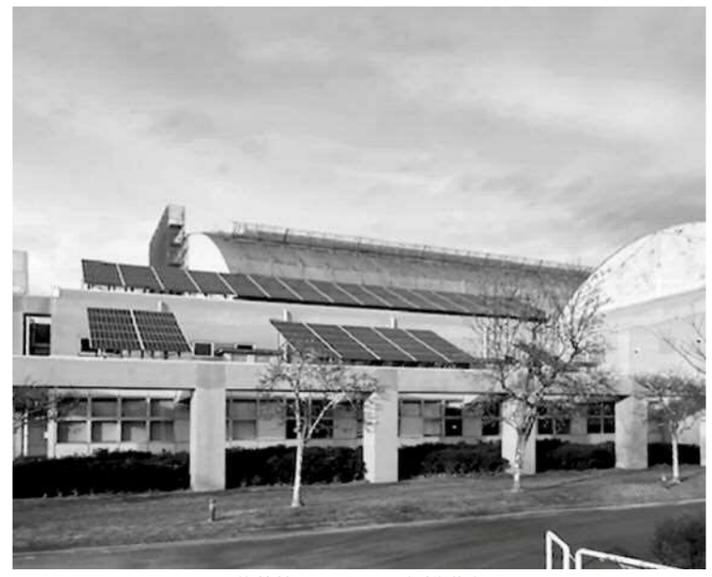


奈良県橿原市提供資料

検討していく

ZEB化の考えは

建物省エネ化



公共施設へのZEB化推進を

2020年10月政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、

カーボンニュートラルを目指すことを宣言した。これを契機に官民双方において、省エネ

ルギー・創エネルギー、再生可能エネルギーの活用、サーキュラーエコノミーの推進といった脱炭素に関する取り組みが急速に進められている。現在、建築物は省エネルギー化が義務付けられており、公共建築物はエネルギー消費量を大きく削減できるZEB化が喫緊の課題となっている。本町においても、近年公共建築物の建て替え、改修工事が実施されており、今後寿命を迎える建物が数多くある中で、省エネルギー化の対策が必要であると考える。

高橋 本町におけるZEB化に向けた取り組みと今後の方針は。

町長 本町が所有する公共施設に関するZEB化の実績はないが、省エネルギー、脱炭素への取り組みとして、照明のLED化、太陽光発電装置の設置などを施設改修、設備の更新等に合わせ整備してきた。脱炭素への取り組みを行う上でZEB化は有効な手段であると認識している。今後はZEB化を含めた有効な省エネルギー化等の対策を検討していく。

高橋 この補助金の内容が10年前から変わっていない。時代に合わせて変えていく考えは。

町長 設備機器も新しいものが出てくる。時代に合わせて対応していく。



高橋 豊



町長 本町は住宅の省エネルギーに向けた取り組みとして、次世代型住宅補助制度がある。これまでの実績や今後の方針は。

高橋 Net Zero Energy Buildings（ネット・ゼロ・エネルギービル）の略称。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のこと。

本当に「0決算」だったのか

余剰金はあった

9月に行われた令和4年度の決算特別委員会の折に、町の施設を指定管理者として管理運営している決算が「0決算」、つまり予算と決算が同額だったことを指摘した。このこ



町の指定管理者関係	
オーガ (株) まちづくりオーガ	指定管理料 20,096,000円
作業所さくら 町社会福祉協議会	指定管理料 13,544,000円
町体育館他スポーツ施設	NPO 大河原町スポーツセンター ※令和5年3月まで 指定管理料 52,278,000円

令和6年4月からは町体育館等の指定管理者は新しくなる



大沼 常次

とについて、さらに議論を深めるべく、以下伺う。

大沼 オーガの指定管理者である株式会社まちづくりオーガ及び福祉作業所さくらの指定管理者である町

大沼 それは正しい会計処理なのか。町の会計処理は、支出負担行為を

町長 指定管理ごとに趣旨、性質が違うことから、余剰金の取扱いについての統一した解釈、ルールは考えていない。

町長 5月の段階で指定管理者を決める会議で、NPOの自主事業の実績や住民ニーズ、過去の一連のNPOの不祥事への対応などを総合的に判断した結果、公募により選定することが妥当という判断をしたものである。

佐藤 敷地利用の関連法令の規定や市場利用者の利便性を確保した施設など、市場存続を前提に引き続き行っている調査研究の進捗について。また、

町内にはすでに金ヶ瀬地区の商業施設が集積する地域で農業資材や地場農産物、食品の販売や食事処、休憩スペースを有した事業者もある。今後は白石川右岸河川敷に「賑わい交流拠点施設」の整備が進められている。「みんなの市場」を整備することで、本町の北側の地域づくりに繋がる。「みんなの市場」の整備はできないのか。

町長 現在の市場は地域の生産者や買受人等の利用者へ安定的な出荷や仕入れ先として必要不可欠で公的機能の役割を担っている。現在敷地の半分以上は有効活用されており、他の施設の設置には課題もある。繰り返しとなるが敷地活用の方向性等、引き続き調査研究が必要である。

佐藤 令和3年3月、低迷する市場経営に総務省より新たな視点で抜本的な改革を目指す経営戦略策定の要請により、商工観光課は「大河原地方卸売市場事業経営戦略」を策定している。令和3年以降、コロナ禍により協議会開催が見送られていた。令和5年度下半期の市場使用料の減免の要望が提出されているが、このことは協議会を通して要望されたのか。



この場所を北の拠点に

一般質問

市場の活用

みんなの市場開設を望む

調査研究が必要



佐藤 巖

町長 市場の運営管理、業務内容は条例及び規則に定めてある。使用料の減免は町の財産に関する事項であることから運営協議会での協議は行っていない。

大沼 指定管理者を決める場合は、原

町長 5月の段階で指定管理者を決める会議で、NPOの自主事業の実績や住民ニーズ、過去の一連のNPOの不祥事への対応などを総合的に判断した結果、公募により選定することが妥当という判断をしたものである。

ふるさと寄附金に 7億円増

令和5年度
一般会計補正予算(第7号・第8号) 議案審議
7億6571万円を追加し
総額 **114億円**



水草が生い茂った調整池

問 この箇所を含め金額は十分か。また当初から予算に計上してはどうか。

答 調整池内に汚泥が堆積し、猛暑の影響で雑草や虫が発生した。清掃については多額の予算がかかるため隔年での実施等は難しい。広表調整池は2箇所あるので交互にどれくらいの間隔で清掃するかについては検討する。

歳出
1400万円増
広表1号調整池汚泥等
清掃業務委託料



新たに設置した案内看板

問 パークゴルフ場の場所が分かりづらいとの声がある。設置個所とサイズは。

答 利用者からの声もあり、今後は必要性の高い誘導案内の看板を設置する。大河原大橋から案内する看板を、踏切前からパークゴルフ場の間に2箇所設置予定。大きい看板について、4月からネーミングライツ募集も検討している。その中で協議したい。

歳出
42万円増
パークゴルフ場看板設置委託料



完成した大中テニスコート

問 企業版ふるさと納税の取引先紹介手数料の割合について

答 どの自治体も手数料の割合は一律であると聞いている。

問 企業版ふるさと納税の取引先紹介手数料の割合について

答 先行して児童生徒対象で補助していたが、町民全員を対象に制度を拡充する。150人を見込む。必要書類は領収書、本人確認ができるもの、補助金を振り込む口座通帳またはカードの写し。申請は、役場2階の総務課窓口。(自転車用ヘルメット1個につき2千円)

問 対象範囲と補助を受ける方法について

答 自転車用ヘルメット購入補助金

問 企業版ふるさと納税の取引先紹介手数料の割合について

答 どの自治体も手数料の割合は一律であると聞いている。

一般会計の主な補正予算項目

債務負担行為の補正

事業名(追加)	期間	限度額	理由
財務会計・文書管理システム賃借	令和5年度から令和6年度	1100万円	リース期間終了に伴う再リース
オンライン決済サービス利用料	令和6年度から契約終了年度	オンライン決済取引金額に対して契約できる金額	事業開始に伴う新規設定

事業名(変更)	補正前		補正後	
	期間	限度額	期間	限度額
子ども・子育て支援事業計画策定業務委託	令和6年度	430万円	令和6年度	720万円

歳入(収入) (万円未満切り捨て)

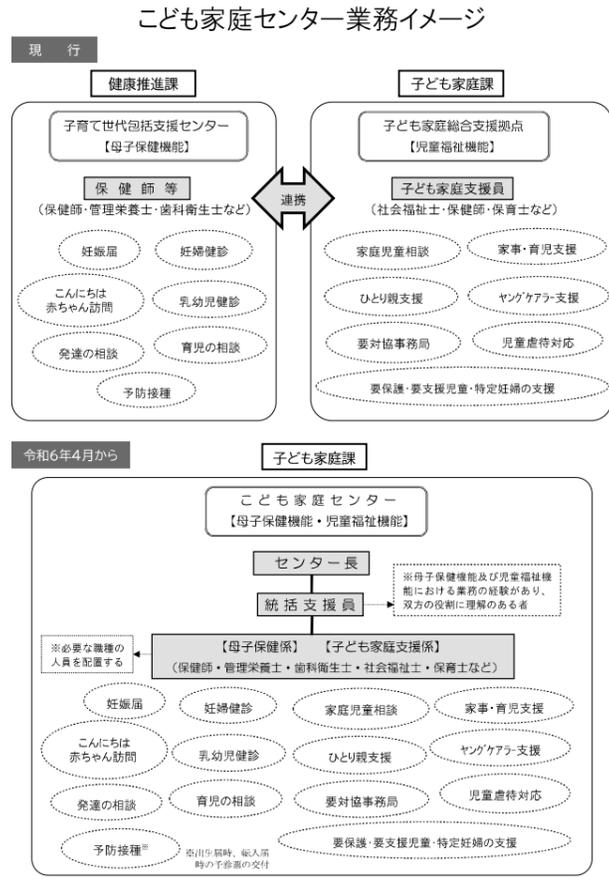
項目	補正額	補正の理由
障害者福祉費負担金(国庫負担金・県負担金の合算)	2199万円	対象者及び利用額の増加による増額
地域型保育給付費負担金(国庫負担金・県負担金の合算)	1449万円	利用児童数の増加、公定価格・処遇改善率の上昇により給付費の増額
児童福祉費補助金	110万円	インフルエンザ流行等による医療費の増、対象事業費が全額補助対象となり増額
一般寄附金	7億円	ふるさと寄附金を前年度実績からの見込みで増額予算総額を22億とする
スポーツ振興基金繰入金	46万円	世界大会出場者など助成対象の増加

歳出(支出) (万円未満切り捨て)

項目	補正額	補正の理由
ふるさと寄附金関連手数料(返礼品、システム・事務委託)	4億9890万円	実績見込みで、寄付者への返礼品、証明書発行等の業務委託、所要経費の増
障害福祉サービス費	1505万円	就労を希望する方が多く、就労系サービス利用が増加している状況に対応
繰入金	315万円	後期高齢者医療・介護保険特別会計の補正予算に伴い繰り出す
子ども医療費助成金	1600万円	インフルエンザ流行、新型コロナウイルス感染症に対する医療費負担の見直しによる不足見込み
障がい児施設給付費	1137万円	施設数も増え、利用希望者が増加傾向にある
補助及び給付費(一時保育・障害児保育・施設型・地域型保育)	2827万円	対象児童数及び利用児童数の増、公定価格・処遇改善率の上昇により増加
道路側溝維持管理委託料	1150万円	施設老朽化に伴い修繕箇所が増、住民や通学路安全対策推進会議等の要望に対応
広表1号調整池汚泥等清掃業務委託料	1400万円	調整池内に汚泥等が堆積し、猛暑の影響で雑草や虫が発生したため、清掃を実施
小学校費	285万円	燃料光熱水費の価格上昇への対応、故障した灯油ヒーターの更新など
中学校費	155万円	燃料光熱水費の価格上昇への対応など

議案第65号関係
住民税非課税世帯に対する物価高騰対策支援給付金
1世帯当たり7万円の対策支援給付金(現金給付)を支給。
●対象世帯
令和5年度分の住民税均等割が非課税である世帯。
スケジュール
令和6年1月15日号
広報おしらせばん掲載。
1月中旬
対象者へ確認書送付。受付開始。
1月中旬以降順次 振込開始。
令和6年3月31日 給付事業終了。

議案第64号関係
産前産後期間相当分の大河原町国民健康保険税の減免
国民健康保険に加入している子育て世帯の負担軽減策として、令和6年1月1日に免除制度が創設される。
●対象
令和5年11月1日以降に出産予定のかた・出産したかた。
●制度内容
国民健康保険税の所得割額と均等割額から、出産予定月または出産月の前月から翌々月まで、多胎妊娠の場合、3カ月前から6カ月相当分を減額する。



国において、すべての妊産婦や子ども、子育て世帯へ一体的に相談支援の機能を有する「こども家庭センター」の設置に努めるとされたことを踏まえ、本町も、令和6年4月から子ども家庭課内に「こども家庭センター」を設置し、さらなる支援の充実・強化を図るもの。

こども家庭センター 全員協議会

令和5年第4回 大河原町議会定例会12月会議 採決状況一覧

議案	結果 (賛成：反対)	議員別表決結果一覧														
		佐藤 暁史	中村 淳	大沼 常次	高橋 豊	須藤 周克明	須藤 慎	高橋 芳男	丸山 勝利	佐藤 貴久	山崎 剛	万波 孝子	秋山 昇	佐藤 巖	大沼 忠弘	岡崎 隆
同意第2号	同意(11:3)	無記名投票による														-
報告第19号～第20号	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
議案第50号	可決(14:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第51号	可決(12:2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	
議案第52号～第65号	可決(14:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
委発第4号	可決(14:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願第1号	委員会付託															

【表決の区分】 ○：賛成 ×：反対 議：議長なので表決に加わらず

議決責任の明確化

令和5年第4回 大河原町議会定例会12月会議 提出議案概要

21件(同意1件、報告2件、議案16件、委発1件、請願1件)

同意第2号 教育委員会委員の任命について
地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定により、片倉亜寿香氏を教育委員会委員に任命することに同意

報告第19号 専決処分の報告について
大河原中学校校舎裏屋外環境整備工事(テニスコート)の工事請負契約の契約金額を455万4000円増額し、6285万4000円に変更

報告第20号 専決処分の報告について
役場庁舎内にて発生した、2トントラック公用車がバックした際に駐車していた宮城県所有車両との交通事故による和解

議案第50号 第6次大河原町長期総合計画の後期基本計画を定めることについて
平成31年に作成した総合計画の後期基本計画(令和6年から11年)を定める

議案第51号 大河原町総合体育館等スポーツ施設に係る指定管理者の指定について
令和6年4月から令和9年3月までの期間、おおがわらスポーツまちづくり共同事業体を指定する

討論
反対討論 佐藤 巖
NPOは長い間、町に対して体育館やスポーツの面で貢献してきた。それがたった一回の審査でこれまでの努力が評価されなかったのは、大変残念である。よってこの議案に反対するものとする。
賛成討論 万波 孝子
当初、協働のまちづくりの視点から町民有志で立ち上げたNPO法人に町は非公募で指定管理者として指定してきた。しかし、相次ぐ不祥事で町民の信頼を失った。新理事長の下で改善はされたが公募による選定はやむを得ない措置と考える。

議案第52号 大河原町福祉作業所さくらに係る指定管理者の指定について
令和6年4月から令和9年3月までの期間、社会福祉法人大河原町社会福祉協議会を指定する

議案第53号 大河原町駅前コミュニティセンター及び大河原駅前立体駐車場に係る指定管理者の指定について
令和6年4月から令和9年3月までの期間、株式会社まちづくりオーガを指定管理者とする

議案第54号 大河原町課設置条例の一部改正について
健康推進課に地域医療係、子ども家庭課に母子保健係を新設しこども家庭センターをにすることを担当する

議案第55号 町長等の給与に関する条例の一部改正について
給与支給率の改正

議案第56号 職員の給与に関する条例の一部改正について
給与支給率の改正

議案第57号 大河原町学力向上指導のための任期付教職員の採用等に関する条例の一部改正について
給与支給率の改正

議案第58号 令和5年度大河原町一般会計補正予算(第7号)
5億9938万1000円を追加し、総額を113億408万6000円とする

議案第59号 後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
2003万7000円を追加し、総額を3億2430万円とする

議案第60号 国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
158万3000円を追加し、総額を23億6305万4000円とする

議案第61号 介護保険特別会計補正予算(第2号)
488万4000円を追加し、総額を14億9791万8000円とする

議案第62号 大河原町仙南夜間初期急患センター事業特別会計補正予算(第2号)
5万円を追加し、総額を4521万9000円とする

議案第63号 公共下水道事業会計補正予算(第2号)
収益的支出において1180万円を追加し、6億3835万5000円とする。資本的支出において443万円減額し、6億4769万6000円とする

議案第64号 国民健康保険税条例の一部改正について
産前産後期間相当分の保険税免除

議案第65号 令和5年度大河原町一般会計補正予算(第8号)
低所得世帯支援を含め1億6632万9000円を追加し、総額を114億7041万5000円とする

委発第4号 議会の議員報酬及び費用弁償等の支給に関する条例の一部改正について
期末手当支給率の改正

請願第1号 再審法(刑事訴訟法の再審規定)の改正に向けた審議促進を求める意見書の採択に関する請願
総務産業常任委員会へ付託



【敷地2】
所在地：大河原町字新南21番1外3筆
現況地積：1,555.18㎡
取得予定価格 約8,400万円

【敷地1】
所在地：大河原町字新南20番1外3筆
現況地積：1,399.61㎡
取得予定価格 約7,700万円

役場庁舎敷地拡張用地取得

第6次長期総合計画・後期基本計画の策定

計画期間・令和元年度～令和11年度の前期基本計画が令和5年度で終了することから今後のまちづくりの重点に置く「Wellbeing(ウェルビーイング)なまちづくり」を反映した後期基本計画(令和6年度～令和11年度)を策定。

委員会活動

総務産業常任委員会・文教厚生常任委員会は、それぞれ次の内容について調査を実施。広報常任委員会は議会だより発行に向けて編集作業を4回実施。

総務産業常任委員会

調査日：令和5年10月2日(月)・11月1日(水)

「インボイス制度が施行されることでのシルバー人材センターへの影響について」

調査結果

- ① 契約方法の見直し
 - 発注者から会員へ直接業務委託となるよう契約方法の見直しを行うことで、発注者のみ消費税を負担することになる。
 - ② 請負金額の値上げ
 - センターに発注する場合に適正な価格設定を行う。
 - インボイス制度の導入に伴う経過措置が適用される3年間は、契約金額の値上げで対応する。

「大河原町の施設に係る指定管理者の指定手続き等に関する条例に係る申請の資格(欠格事項)の見直しについて」

調査結果

- 総員賛成により、条例の中に欠格事項を新たに追加することに決定。
- 先進自治体の条例を参考に、本町に当てはまるよう変更、追加する方向に決定。
- 執行部との精査が必要である案件であるため、継続して調査を行っている。

文教厚生常任委員会

調査日：令和5年9月20日(水)・10月19日(木)・25日(水)・11月11日(土)・29日(水)

「おおがわら心のケアハウスについて」

調査結果

- 時代と共に不登校に対する考え方が変容しており、無理に学校に行かせない親も増加。その受け皿となる心のケアハウスの存在は重要。
- 家庭生活に起因する不登校も増加傾向にあり、スクールソーシャルワーカーの存在が重要。

「子ども食堂『ひまわり亭』について」

調査結果

- 30食の弁当作りの経費は毎月1万円の町からの補助金を充てている。
- 食材の中で肉類(豚肉)については(株)ヒルズ様から提供を受けており、このような提供がなければ活動を維持できない。

「町内小中学校視察について(大河原小・大河原南小・大河原中)」

調査結果

- 教室に入れない児童の対応については、今後も心のケアハウスとの連携が必要。
- 2学期制になったことで、児童の評価の観点において適正な期間あることで事務の効率化が図られている。
- 特別教室の理科室や家庭科室のエアコン設置については、既に町教育委員会と打合せが進んでおり、次年度に予算要求が行われるものと思われる。
- 小学校で不登校だった児童は中学生になっても不登校になる場合が多い。

町に住みたい



金ヶ瀬中学校2年 丹野 永理さん

私の思う住みたい町は、街灯がある安全な町です。なぜかというと、私の通学路には街灯が少なく、中学生が部活帰りなどの暗い道に一人で歩くのはとても危険だからです。また、人それぞれ遊ぶ目的が違うので、食べる場所や買い物をする場所、いろいろなスポーツで遊ぶ施設があると町の人々のニーズに合っていていいと思います。将来そのような環境が整った町になればいいと思います。



金ヶ瀬中学校2年 あがつま 我妻 菜穂さん

私は、地域のコミュニケーションが盛んな町に住みたいです。その理由はコミュニケーションが盛んならば、町に活気が生まれると思うからです。私は、朝学校へ行く時いつも挨拶をすることで朝少し元気が出る気がします。私もコミュニケーションが盛んな町づくりに貢献できるように、自分から進んで挨拶をしていきたいと思っています。

3月議会のお知らせ

招集日 3月1日(金) 再開日 3月8日(金)
詳細は議会事務局まで ☎53-2800

頑張っている子どもたち

岩沼西ファイターズ所属(ドッジボール)

渡邊 愛和さん (大河原南小学校6年生)
愛花さん (大河原南小学校4年生)

2人は姉妹揃って宮城県女子選抜選手に選ばれました。昨年金沢で開催された全国大会に見事出場を果たし、今春の全国大会に向け更なる意欲を燃やしています。ドッジボールの競技人口は多くありません。どうしてもやってみたくて体験したら、ハマってしまったという愛花さん。愛和さんは中学校でバレー部を希望しています。今後も2人の活躍の場が広がっていきます。本当に楽しみです。



今回の表紙は



今回の表紙は、駅前商店会主催のたこあげ大会の様子です。お兄さんが妹さんのたこあげをサポートをしてくれました。この後、妹さんは疲れを休ませ、ベンチでお休みしていました。子どもから大人まで沢山の参加者で盛り上がり、最後は記念撮影と手作りのこの表彰が行われました。コロナ禍が明けたので、このようなイベントがどんどん増えていくといいですね。

編集後記

1月1日に発生した能登半島地震、2日に起きた航空機事故、そして3日には北九州市で大きな火災が発生しました。お亡くなりになられた方々に哀悼の意を表しますと共に、被害にあわれた皆様にお見舞い申し上げます。一刻も早い安否不明者の確認と、一日も早く元通りの生活に戻れることを願っています。自然災害や事故の恐ろしさを痛感させられ、それと同時に平日からの備えが必要だということに改めて考えさせられた年の始めとなりました。今年一年が皆様にとりましてより良い一年になりますようお祈り申し上げます。(須藤 慎)

- 編集発行責任者 岡崎 隆
議長 佐藤 暁史
議会広報常任委員 佐藤 暁史
委員長 中村 克明
副委員長 高橋 淳
委員 須藤 慎
丸山 勝利

町民の声

子育てや町に望むことを
お聞きしました。

子ども達がのびのび学び
遊べるまちに

＊プロフィール＊

くさかわ まい こ

草川麻衣子 さん (桜町2区)

山元町出身

【家族】夫、子ども1女1男 (小6、小4)
4人暮らし

桜町に住んで
10年以上

山元町の出身で大河原町に移住。結婚し南桜町に新居を構えました。二目千本桜が美しく栄えている町」というのが大河原町の印象です。コンビニも近く、生活するのに何の不自由もありません。夫と小6の娘、小4の息子と4人暮らしです。庭のシンボルのバスケットゴールは、バスケットに夢中の息子のために作りました。

大河原町に住んで 感じたこと

大河原町は人が多いぶん、不審者情報も多いと感じます。横断歩道で止まらない車も非常に多いです。また子ども達が自転車で遊びに行くと、路駐の車が
多く通行が妨げられる

こともしばしばです。まち全体で子ども達の安全に配慮してほしいです。

地域の繋がりが薄くなっていてと感じています。区の役員は若い世代が少なく、子ども会に入る人も少ないです。子どもが増え、若い世代が活躍できる環境を整えてほしいと思います。今後の町の施策に期待します。

子ども達に 居場所を

大河原町は子どもの学力が高いです。土曜子供塾では無料で勉強を教えてもらえるし、駅前図書館、子どものケアハウスでも勉強することが出来ます。

しかし子ども達が気兼ねなく集り、話しながら勉強や宿題をする場所がないです。公園で集まっていると苦情が来る場合もあり窮屈さを感じています。子ども達が気軽に集まれる居場所があれば良

と思います。

また学力の高さの反面、体力面で不安な部分もあります。猛暑で体育館やプールが使えない状況が続きました。体力向上のため、のびのび遊べる遊具が整った施設がほしいです。そして学校の体育館にはクーラーを設置してください。猛暑でも安心して体育の授業ができると思います。

入学準備金と 小児科を

いまだ物価高騰が続いています。そんな中、



娘が今年中学校に入学します。しかし制服やポロシャツも値上がりしています。新入学生が充実した義務教育を受けられるよう、昨年と同様「入学準備金」があると助かります。最後に、大河原町は小児科が少ないです。予約制じゃないと待ち時間が長くなります。他町の小児科に行くこともあります。町として小児科を充実させることで、安心して子育てできる町になってほしいです。